


はあ〜てい

vol.233

2017年1月号

益田市の
社協
だより

 この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

第34回 益田市社会福祉大会



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございませう。
市民の皆様には、輝かしい平成二十九年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当会の事業運営に温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今日、私たちを取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少、経済社会の変化などから地域社会や家族関係が希薄化し、地域における孤立や貧困、虐待、詐欺など社会的な問題も深刻化しています。

これらの課題解決に向けて、当会は、先に行政と共に策定した『益田市地域福祉計画・益田市地域福祉活動計画』をより実効性のあるものとするため、「子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、安心して生活出来るよう」市民の皆様はじめ、あらゆる関係機関・団体の皆さんと連携し、頑張っております。

特に、当会では、小地域ネットワーク活動の土台となる「地域の福祉力」を高めるため、「支え合いマップづくり」を通して、地域住民と話し合いながら、困りごとに対して近所同士で寄り添い、助け合う「近所福祉活動」を推進しており、今後も各自自治会圏域で活動の輪を広げていきたいと考えております。

当会役員は、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」実現のため、一生懸命努力してまいります。今後とも皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

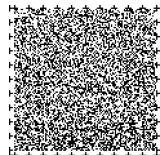
最後に、皆様方にとりまして、平成二十九年がご健勝で幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

益田市社会福祉協議会

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 会長 齋藤 眸 | 副会長 吉川 富男 | 常務理事 福原 正巳 |
| 理事 岩本キミ子 | 大久保 稔 | 佐々木文彦 |
| 澄出 正義 | 高橋 和則 | 田中 敦 |
| 豊田 忠作 | 永本 鶴枝 | 原 伸一 |
| 吉村 浩司 | 渡辺 隆 | 山本 尚 |
| 監事 竹内 優機 | 林 光明 | 本井 宗明 |
| 顧問 田中 稔 | | |

評議員・職員一同

(五十音順、敬称略)



福祉のまちづくりに向け参画と協力を



益田市長
山本浩章

新年明けましておめでとござります。

市民の皆様には、平成二十九年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれましては、福祉活動における中核組織として、「人とのつながり」「地域とのつながり」を深めていくため、多くの団体の参加と協働のもとに、地区社会福祉協議会活動、ボランティア活動、福祉教育、高齢者・子育てサロン活動など、地域福祉活動を展開されていることに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

市と致しましては、子どもから高齢者まで障がいのある人もない人も、誰もが安心して自立した日常生活を送るため、地域住民、社会福祉協議会、事業者、ボランティア、行政などが一体となり、ともに支えあい、助け合う福祉のまちづくりに向けて、第二期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進を図って参りたいと考えております。安心して暮らせるよう地域福祉を充実させていくためには、市民の皆様積極的な参画と協力が欠かせません。

市は今年も、福祉関係機関との一層の連携を図り、各種福祉施策を展開してまいりますので皆様の温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

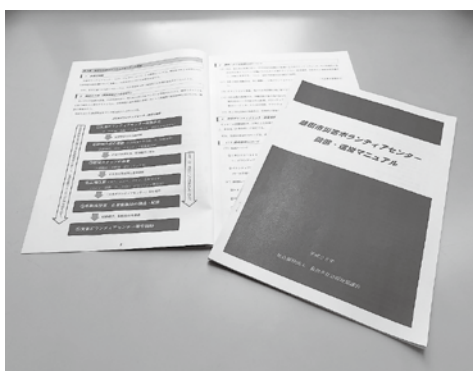
最後に、平成二十九年が、市民の皆様にとって、幸多き年となりますよう、心よりご祈念を申し上げます、年頭のごあいさつと致します。

【益田市災害ボランティアセンター】改訂・設置・運営マニュアル

大規模な災害が発生した際に、被災地の復旧・復興のために、多くのボランティアと被災者のニーズを結びつけるのが「災害ボランティアセンター」です。

『災害ボランティアセンター』は、市や関係団体と協力しながら、益田市社会福祉協議会が設置・運営することになっていきます。

平成20年に発行したマニュアルでは、近年の大規模災害への対応やNPOなどの他団体との連携等の課題があり、このたび【益田市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル】を改訂しました。今後、本マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いながら、適宜マニュアルの見直しを行ってまいります。

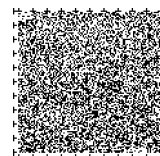
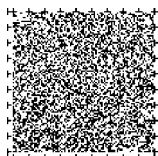


災害ボランティアセンターの主な活動内容

- ・被災地の要望（ニーズ）の把握
- ・ボランティアの受け入れ
- ・人数調整・資機材の貸し出し
- ・報告・振り返り 他

なぜ災害ボランティアセンターを社協が設置・運営するのか？

復興後の地域づくりを支援できるという点や、全国どこの市町村にもあるため、物品の支援やボランティアの支援が社協間で行きやすく、行政や地域住民・関係機関とも連携が日ごろからとれているためです。



益田市社会福祉大会を開催しました

11月22日(火)益田市総合福祉センターにおいて、第34回益田市社会福祉大会を開催し、多くの福祉関係の方々に参加いただき、社会福祉の発展に功績のあった方々に表彰状・感謝状の贈呈を行いました。



講師：神代さつき

式典後の講演には、特別養護老人ホーム「ますだ」ハイツ歯科衛生士の神代さつきさんを講師に招き、『口腔ケアで健口に』と題して、ご飯をおいしく食べ続けることは健康長寿につながることに、またそのための口腔ケアについてわかりやすく教えていただきました。

また、少年の主張益田市大会で優秀な成績を収めた、斎藤采花（益田中）さん、永尾心風（中西中）さん、篠原由美子（西南中）さん3名による発表、雪舟橋サロンの山下明子さんによるサロン活動発表などが行われました。

最後に、今大会を機に福祉関係者一同、改めて地域福祉の推進に力を合わせることを誓いました。



表彰の様子

- 【表彰】
 民生委員・児童委員でその功績が顕著な者
- 村中登志男 (昭和町)
 - 野口 忠 (七尾町)
 - 坂本 良子 (中島町)
 - 吉村 一恵 (中島町)
 - 大石マチエ (中須町)
 - 岡戸 瑞枝 (久城町)
 - 宅野まり子 (久城町)
 - 松本 恵子 (下本郷町)
 - 和崎 秀康 (高津六丁目)
 - 中島 輝子 (高津六丁目)
 - 中村 修二 (高津四丁目)
 - 澁谷由紀子 (須子町)
 - 稲岡 俊男 (須子町)
 - 横藪 健二 (遠田町)
 - 山崎 静香 (遠田町)
 - 野村 紀年 (木部町)
 - 石田 和美 (大谷町)
 - 日比 勇 (久々茂町)
 - 宮崎 泰己 (本俣賀町)
 - 猪木 良一 (左ヶ山町)
 - 栗栖 真樹 (神田町)
 - 椋木 哲男 (向横田町)
 - 川崎 房代 (薄原町)
 - 中島 高明 (上黒谷町)
 - 品川 彌次 (柏原町)
 - 大庭紗登美 (小浜町)

おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りいたします。

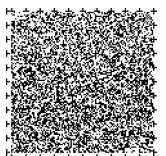
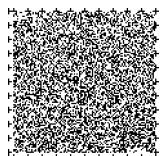
第34回益田市社会福祉大会 表彰及び感謝状受賞者

順不同・敬称略

- 岩本 悟 (白上町)
- 岡崎 朝則 (市原町)
- 中島美代子 (中垣内町)
- 田中 栄 (白上町)
- 内藤 明美 (美都町朝倉)
- 土佐 都子 (美都町山本)
- 木川 順子 (美都町宇津川)
- 渡邊 健一 (匹見町匹見)
- 渡辺恵美子 (匹見町紙祖)
- 森本 哲男 (匹見町落合)
- 社会福祉施設、地区社協・団体等の役員での功績
- 猪木 良一 (左ヶ山町)
- 優良社会福祉施設及び社会福祉協議会・団体等
- ますだおもちゃの図書館の会
- とらあぐるつぷ
- Jumping Gym
- 益田市聴覚障害者協会
- 社会福祉事業における永年勤続功労
- 青木 陽一 (染羽町)
- 田原 泰子 (赤城町)
- 野口 忠 (七尾町)
- 田中 榮 (下本郷町)
- 長谷 香織 (染羽町)
- 小西麻里代 (七尾町)

【感謝】

- 大島美由紀 (乙吉町)
- 御神本優子 (乙吉町)
- 西川 久美 (東町)
- 桐山 陽子 (安富町)
- 齋藤 英 (匹見町匹見)
- 澄川 俊博 (波田町)
- 梅津かおり (美都町朝倉)
- 西川 清美 (美都町笹倉)
- 菊井 美子 (須子町)
- 香月 三笠 (飯浦町)
- ナルク益田やまびこの会
- あゆみ会
- 邦楽ボランティア会
- エコリス倶楽部
- 中須和みの会
- いきいきサロン緑ヶ丘南
- いきいきステディ
- 二川地区ふれあい・いきいきサロン
- コアラッチ
- はぐくむ会
- ひとまるサロン
- 飯塚 正 (広島市)
- 田中 稔 (乙吉町)



ご近所福祉のあれこれ!

Vol.1 なぜ支え合いマップが今必要?

私たちのご近所では、増え続ける独居高齢者や高齢者だけの世帯、障がいがある方等援助が必要な方がいらっしやいます。また、ご近所の中では、ゴミ出しの問題や引きこもりなど、困りごとを抱えている家庭も増えてきています。

その一方で、時代とともにご近所同士の付き合いが希薄化し、助け合うことが昔にくらべて難しくなっています。

これからの社会を考えると、ご近所同士の『支え合い・助け合い』が安心して生活する上で何より大切になると考えられますが、そのためには、ご近所同士の支え合いの絆をこれまで以上に深める必要があります。そこで支え合いマップの登場です！

(次号につづく)

初めてのサロン交流会開催 ～介護予防と健康づくり～

11月30日(水)、市内79カ所のサロンに案内し、『介護予防研修会並びにふれあい・いきいきサロン交流会』を益田市・益田市社協・益田保健所合同で開催しました。

会の前半では、介護予防についての講演や、『いきいき百歳体操』を体験しました。後半ではグループワークを行い、それぞれの地域でのサロンの活動内容や、抱えている課題などを共有しながら、サロン間の交流を深めました。参加者からは「他にこんなにサロンがあるとは思わなかった」、「今度サロン間で交流会をしましょう」などという声がありました。

社協では、みんなで、楽しく介護予防と健康づくりを続けることで、地域の活性化に繋がるよう、今後もサロン活動を推進していきます。



生活福祉資金(教育支援資金)のご案内

この資金は、学校教育法に規定する高等学校、大学又は短大及び高等専門学校に就学するのに必要な費用を下記の条件によりお貸しする制度です。

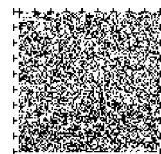
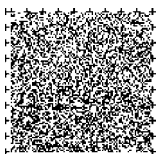
益田市にお住まいの低所得世帯で、必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯が対象となります。他の資金が利用可能である世帯は、それらを優先してご利用いただく必要があります。

【教育支援費】	限度額	・高等学校(専修学校高等課程を含む)	月額35,000円以内
		・高等専門学校	月額60,000円以内
		・短期大学(専修学校専門課程を含む)	月額60,000円以内
		・大学	月額65,000円以内
【就学支度費】	限度額		500,000円以内
【返済について】	据置期間卒業後6ヶ月以内	返済期間20年以内	月賦・半年賦・年賦

◇相談・申込み方法◇

現在お住まいの地区民生委員、もしくは益田市社会福祉協議会にご相談下さい。

申請対象となった場合、申込用紙に関係書類を添え、民生委員、益田市社会福祉協議会を経由し、島根県社会福祉協議会へ申し込むことになります。



総合福祉センターに事務所移転しました (益田市身体障害者福祉協会)

12月1日(木)、益田市身体障害者福祉協会の事務所が、会員の利便性の向上等を考え、以前の鎌手地区から総合福祉センター内(須子町)に移転しました。

当日は、益田市長、益田市議会議長をはじめ、多くの方が臨席され、開所式が開催されました。岩本会長は、「誰でも気軽に立ち寄れる事務所にしたい」と述べられています。



岩本会長(左)と野村事務局長(右)

善意の輪

(平成28年10月1日～平成28年11月30日)

敬称略

〔香典返し〕

野村 勉	(久城町)	金一封
大庭 登	(西平原町)	金一封
野村 昴	(美都町仙道)	金一封
脇 静枝	(西平原町)	金一封
澄川 孟	(久城町)	金一封
野村 和枝	(美都町仙道)	金一封
野村 恵美子	(木部町)	金一封
佐々木 巖	(常盤町)	金一封
村滝 安春	(赤城町)	金一封
長野 正和	(飯浦町)	金一封
大谷 博	(久城町)	金一封
匿名		金一封
山根千保子	(三宅町)	金一封
佐々木良則	(西平原町)	金一封
和崎トモエ	(多田町)	金一封
大崎 育雄	(津田町)	金一封
石川 忠雄	(薄原町)	金一封
山根 哲朗	(美都町都茂)	金一封
城市 克己	(美都町山本)	金一封
村上 光正	(美都町仙道)	金一封
堀野 章	(美都町朝倉)	金一封
豊田 勲	(匹見町広瀬)	十万円

〔見舞返し〕

大谷 昭夫	(美都町都茂)	金一封
-------	---------	-----

〔一般寄付〕

中垣内うつつた一座(中垣内町)

金一封

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

社協特別会員へのお礼

社協の特別会員として次の企業・団体のご賛同をいただきました。大変ありがとうございました。
(12月7日現在 順不同・敬称略)

- (有) 椋木商会
- (株) エイト
- (株) トーイツ
- 島根中井工業(株)
- 美濃商工会
- みと薬局
- (有) ノハラ
- (有) コアソム
- 深山の郷加工グループ
- 小原営農組合
- (株) FLOWMARCO 保険センター
- 匹見歯科診療所
- 中村医院
- (有) 中田自動車整備センター
- 島根県農業協同組合 匹見支店
- 新光プロパン瓦斯(株) 匹見販売所
- 青木建築
- (株) 大久保林業
- 松合商店
- 清流会
- 匹見峡温泉やすらぎの湯
- 日出来屋酒店
- (有) 蔵本建設
- 西川農園
- 森本商店
- (株) 秋の会

ふれあい福祉相談のご案内 1月・2月の相談日

場所：益田市総合福祉センター

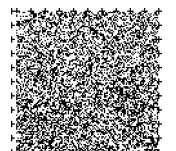
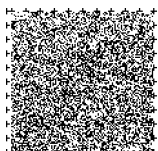
	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
1月	13日(金)	13日(金)	13日(金)・27日(金)
2月	10日(金)	10日(金)	10日(金)・24日(金)

家庭内外のトラブルや心配ごと等、広く日常生活上の相談をお受けしています。どこに相談したらいいの? という時、ふれあい福祉相談をご利用下さい!



問い合わせ
予 約

益田市社会福祉協議会 ☎ 22-7256
(月～金 8:30～17:30)



フードバンク事業、スタート! (11月1日)

11月末までに39の個人・団体から、お米260kgをはじめ乾麺・缶詰・インスタント食品等、287品のご寄贈を頂きました。大変ありがとうございます。すでに、数名の方へ食料支援を行い、大変喜んで頂きました。

今後も、食べ物を必要としている方への支援に有効活用させていただきます。

現在、「おかず」となる食品が不足しており、引き続き、皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



赤い羽根・歳末たすけあい募金活動報告 (11月23日)

「匹見町産業文化祭」会場で、赤い羽根・歳末たすけあい募金活動を行いました。

大変寒い日でしたが、匹見町内外から大勢の方が来場され、募金活動をしている私たちのブースにも来ていただきました。募金に協力いただいた方には、「しまねっこコラボグッズ」や「貼るカイロ」をお配りし、大変喜ばれました。ご協力いただき、ありがとうございました。

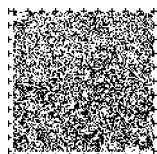
来年の“夏”に向けて・・・ (11月29日)

初めての試みとして、サマーボランティアスクール意見交換会を開催し、益田市教育委員会・公民館や施設・学校関係者の皆さんと、今年度のサマーボランティアスクール全体の振り返りを行いました。当日は、生徒さんの活動の様子や、福祉現場の現状、部活動や補習授業など夏休みの生徒さんの置かれている状況について、活発な意見交換が行われました。貴重なご意見を参考に、今後のサマーボランティアスクールを更に有意義な活動にしていきたいと思えます。



「成年後見制度」を地域で育てていくために (12月7日)

認知症などで判断能力が不十分になった人を不利益から守るために「成年後見制度」があります。弁護士などの専門職や親族だけではなく、同じ地域で暮らす住人が市民後見人としてその人を支えていくことを目的として、実際の活動に役立てることのできるマニュアルを作るため、第2回市民後見人活動マニュアル作成部会を開催しました。部会のメンバーには養成講座修了者（一般の市民の方）に参加していただいております。誰もが読んで分かりやすいマニュアルの完成を目指しています。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1
 編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
 社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

「はあてい」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

